

令和7年度 朝霞市コミュニティセンター運営審議会 会議次第

日時 令和7年7月18日（金）午後2時

会場 中央公民館・コミュニティセンター 第1・2集会室

1 開 会

2 議 事

- （1）利用状況等について
- （2）その他

3 閉 会

朝霞市コミュニティセンター運営審議会委員名簿(敬称略)

任期 令和6年7月1日～令和8年6月30日

選出根拠	氏 名	役 職 等	備 考
1号委員 市議会議員	兼 本 尚 昌	市議会議員	
2号委員 朝霞市コミュニティ協議会会員	渡 辺 俊 夫	コミュニティ協議会会長	委員長
	内 田 達 也	関八州よさこいフェスタ連絡協議会副会長	
	椎 橋 利 康	A I S（朝霞地区インターナショナルソサエティ）役員	
3号委員 知識経験を有する者	藤 田 良 子	東筆会会長	副委員長
	平 塚 誠	文化協会会長	
	陶 山 俊 恵	らくらく健康体操役員	
	岩 崎 裕 子	朝霞おやこ劇場役員	
3号委員	葉 山 彩 蘭	公募委員（審議会等委員候補者名簿登録者）	

※選出根拠は朝霞市コミュニティセンター設置及び管理条例施行規則第19条の規定による。

令和4年度～令和6年度 コミュニティセンター利用状況

室 名	年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	開 館 日 数	307日	308日	306日
集 会 室 1	利 用 可 能 回 数	817回	849回	820回
	利 用 回 数	411回	429回	418回
	利 用 率	50.3%	50.5%	51.0%
	利 用 者 数	11,209人	29,378人	25,102人
集 会 室 2	利 用 可 能 回 数	860回	886回	864回
	利 用 回 数	426回	464回	473回
	利 用 率	49.5%	52.4%	54.7%
	利 用 者 数	9,786人	30,397人	26,566人
展 示 ギ ャ ラ リ ー	利 用 可 能 回 数	891回	906回	897回
	利 用 回 数	562回	521回	530回
	利 用 率	63.1%	57.5%	59.1%
	利 用 者 数	53,776人	59,781人	63,611人
ホ ー ル	利 用 可 能 回 数	796回	872回	861回
	利 用 回 数	244回	195回	248回
	利 用 率	30.7%	22.4%	28.8%
	利 用 者 数	22,915人	30,969人	33,957人
合 計	利 用 可 能 回 数	3,364回	3,513回	3,442回
	利 用 回 数	1,643回	1,609回	1,669回
	利 用 率	48.8%	45.8%	48.5%
	利 用 者 数	97,686人	150,525人	149,236人

令和6年度コミュニティセンター使用料免除回数等の調書

令和6年度 開館日数：306日

室名	利用可能回数	全体			有料			免除		
		利用回数	利用率	利用者数	利用回数 比率	利用率	利用者数	利用回数 比率	利用率	利用者数
第1集会室	820 回	418 回	51.0%	25,102 人	167 回 40.0%	20.4%	3,763 人	251 回 60.0%	30.6%	21,339 人
第2集会室	864 回	473 回	54.7%	26,566 人	288 回 60.9%	33.3%	6,547 人	185 回 39.1%	21.4%	20,019 人
展示ギャラリー	897 回	530 回	59.1%	63,611 人	316 回 59.6%	35.2%	9,812 人	214 回 40.4%	23.9%	53,799 人
ホール	861 回	248 回	28.8%	33,957 人	111 回 44.8%	12.9%	9,709 人	137 回 55.2%	15.9%	24,248 人
合 計	3,442 回	1,669 回	48.5%	149,236 人	882 回 52.8%	25.6%	29,831 人	787 回 47.2%	22.9%	119,405 人

事 務 連 絡
令和 7 年 6 月 6 日

公民館使用団体 各位

朝霞市中央公民館長 堀川 政昭

中央公民館・コミュニティセンター改修工事に伴う臨時休館の予定変更
について（お知らせ）

平素より、本市の社会教育行政に御理解を賜り、誠にありがとうございます。

さて、中央公民館・コミュニティセンターの長寿命化改修工事につきましては、5月15日（木）に行われた請負事業者を決める入札が成立せず、工事の開始時期が当初の令和7年9月から遅れる見込みとなりました。

工事開始時期の延期に伴い、9月末まで使用できる予定となりましたので、下記のとおり詳細をお知らせします。

記

1 開館（使用可能）期間の延長

令和7年9月30日（火）まで使用できます。

9月分の仮予約申込みは7月1日（火）から7月20日（日）まで受け付けます。

2 東朝霞公民館・南朝霞公民館について

中央公民館・コミュニティセンターの改修工事期間中、東朝霞公民館と南朝霞公民館は工事期間中に限り通常の休館日を開館日とする予定でしたが、この運用も延期します。令和7年9月は東朝霞公民館、南朝霞公民館ともそれぞれの館の休館日に従って運営します。

東朝霞公民館の休館日は、第1・第3・第5日曜日と第2・第4月曜日及び祝日

南朝霞公民館の休館日は、第2・第4日曜日と第1・第3・第5月曜日及び祝日

3 物品保管について

物品保管場所使用申請の許可を受けて中央公民館で物品を保管している団体につきましては、7月31日（木）までに物品のお持ち帰りをお願いしていましたが、物品保管場所の使用を8月31日（日）まで延長することとします。

4 令和7年10月以降の運用について

10月1日以降の休館に関する情報は、市ホームページや館内の掲示等によりお知らせしますので御了承ください。

※このお知らせは団体（サークル）の代表の方にお送りしていますので、各団体内の情報共有をお願いします。

【問い合わせ】 朝霞市中央公民館

電話：465－7272

基本構想（素案）

市民の皆さんと市がともに目標とする将来像を描き、その実現に向けた政策の方向性を示します。

【計画期間】令和8年度（2026年度）から令和17年度（2035年度）までの10年間

朝霞市が目指すべき方向性

将来像

朝霞市は、武蔵野台地に育まれた緑と水辺に恵まれ、交通利便性の高い東京近郊の住宅都市として発展し、市制施行時に約5万5,000人だった人口は、これまで増加を続け、令和7年（2025年）には約14万6,000人を有する都市に成長してきました。

これからも、朝霞市の強みである生活利便性や安全性、恵まれた自然環境、朝霞市民まつり「彩夏祭」に代表される文化などを、未来に継承していきます。さらには、近年希薄化しつつある人と人とのつながりの再生や、協働によるまちづくりの活性化を通じ、第5次総合計画の将来像として掲げた『暮らしつづけたいまち』をさらに洗練することで、誰にとっても魅力的で誇りを持てる、住みやすいまちを目指すものとし、将来像を次のとおりとします。

「だれもが誇れる 暮らしつづけたいまち 朝霞」

将来像実現のための基本方向

将来像を実現するためには、市政運営の大きな方向性を示し、みんなが方向性を同じくして取り組んでいくことが大切です。そこで、将来像の実現のための基本方向を3つ掲げます。

安全に、安心して暮らせるまち

“安全に、安心して暮らせるまち”として、子どもや高齢者、障害者等、誰もが「災害や犯罪への対策が充実しており、安全に暮らしていける」と実感できるまちを目指します。

また、「子育て支援等の福祉サービスや、市民の健康づくりへの支援等が充実しており、安心して暮らしていける」と思えるまちを目指します。

〈関連する主な政策分野〉

- 災害対策・防犯
- 福祉・子ども・健康

自分らしく学び育ち、心地よく暮らせるまち

“自分らしく学び育ち、心地よく暮らせるまち”として、子どもや高齢者、障害者等、誰もが「充実した教育を受けながら成長し、活躍する場がある」と実感できるまちを目指します。

また、「恵まれた自然環境の中で、人と人とのつながりがあり、住みやすい環境がある」と思えるまちを目指します。

〈関連する主な政策分野〉

- 教育・文化
- 環境・市民生活・コミュニティ

快適に暮らせる、にぎわいのあるまち

“快適に暮らせる、にぎわいのあるまち”として、子どもや高齢者、障害者等、誰もが「道路や公園等のインフラが整備され、便利さと快適さがある」と実感できるまちを目指します。

また、「地域の特性を生かした産業の活力があり、にぎわいがある」と思えるまちを目指します。

〈関連する主な政策分野〉

- 都市基盤・産業振興

将来像の確実な実現に向け、全ての政策を推進するための「共通理念」を3点掲げます。

この共通理念は、行政のみならず、市民、市民活動団体、さらには事業者や学術研究機関など多様な主体が共通して理解し、常に心がけてほしい姿勢となります。

多様性を尊重し、
認め合い助け合って
まちをつくる

朝霞市にはさまざまな人々が暮らし、個性や価値観、社会的な状況なども多様です。また、人々と同様に、朝霞市の各地域にも、それぞれの個性があります。

これからのまちづくりでは、社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）や多様性（ダイバーシティ）を尊重し、人の個性や地域特性の多様性を尊重し、認め合い助け合いながら、未来の朝霞をつくっていきます。

主体的に参画し、
愛着をもって
まちをつくる

地域における課題解決に向けては、行政だけではなく、市民等それぞれが自分ごととして捉え、さまざまな視点から主体的に活動することが大切になります。

これからのまちづくりでは、市民にとって市政への参画が身近であるまちを目指すとともに、参画と協働を通じてまちへの愛着を育みながら、未来の朝霞をつくっていきます。

連携と創意工夫によって、
持続可能な
まちをつくる

複雑化・多様化した課題の解決には、広域的な視点や、市民など行政以外の視点を取り入れることが欠かせません。

これからのまちづくりでは、他の自治体や市民等のまちづくり活動の主体と連携し、デジタル技術の活用など絶え間なく創意工夫を重ね、市民生活を安定的に支えられる行財政基盤を構築しながら、未来の朝霞をつくっていきます。

政策分野

基本構想に掲げる将来像や将来像実現のための基本方向を踏まえ、政策分野を次のとおりとします。

なお、社会経済情勢の著しい変化に柔軟に対応していくため、ここでは政策分野のみを示し、具体的な施策や取組については基本計画に位置付けます。

災害対策

防犯

福祉

子ども
健康

教育

文化

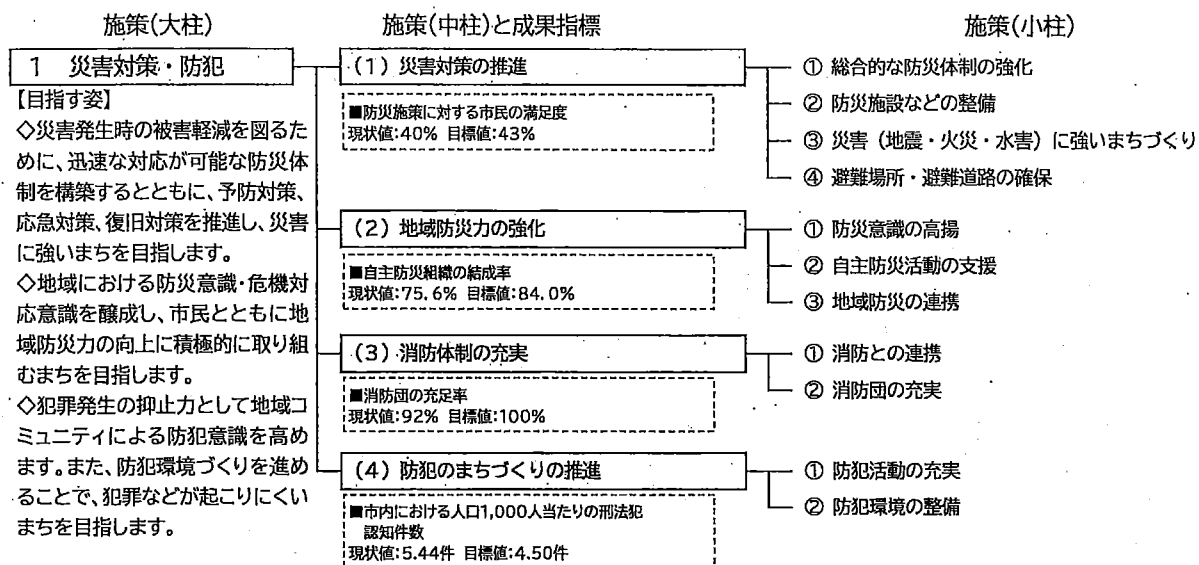
環境

市民生活
コミュニティ

都市基盤

産業振興

政策を推進するための取組



施策(大柱)

施策(中柱)と成果指標

施策(小柱)

1 地域共生社会の推進

【目指す姿】

◇高齢者・障害者・生活困窮者など、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、支え合い、一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていくことができる「地域共生社会」を実現するまちを目指します。

(1) 地域共生社会の構築

■地域福祉活動への参加団体数
現状値:167団体 目標値:233団体

- ① 地域共生社会に向けた支援体制の構築
- ② 地域包括支援センターの機能強化
- ③ 地域福祉活動等への支援
- ④ 地域福祉人材の発掘及び育成支援

(2) 誰もが互いに尊重し合い、共に生きる社会の実現

■高齢者・障害者の虐待通報件数
現状値:57件 目標値:74件

- ① 相互理解の推進
- ② 権利擁護と尊厳の確保
- ③ 社会参加とつながりづくりの支援

(3) 誰もが地域で暮らし続けられるための支援の充実

■新規就労者数(生活保護受給者+障害者+シルバー入会者)
現状値:288人 目標値:359人

- ① 相談支援体制の充実(高齢者・障害者・生活困窮者など)
- ② 高齢者福祉の充実
- ③ 障害者福祉の充実
- ④ 生活困窮者等への支援の充実
- ⑤ 自立に向けた就労の支援

(4) 誰もが安心して生活ができる支援の充実

■見守りサービス利用者数(高齢者+障害者+その他)
現状値:828人 目標値:962人

- ① 地域での見守り体制の充実
- ② 暮らしやすい住まいへの支援

2 こども・若者応援、子育て支援

【目指す姿】

◇全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる「こどもまんなか社会」を構築するため、こども・若者が「このまちで育ってよかった」と思い、保護者が「このまちで育ててよかった」と実感し、子育て・子育てを地域で応援するまちを目指します。

(1) こども・若者が健やかに育つための支援

■要保護児童対策地域協議会個別支援会議で協議した人数
現状値:36人 目標値:40人

- ① こども・若者の人権の尊重
- ② 多様な困難を抱えるこども・若者への支援
- ③ こども・若者の意見表明・社会参画の推進

(2) こども・若者が夢を想い描くための支援

■こどもの居場所づくりを推進する団体数
現状値:28団体 目標値:33団体

- ① 青少年育成事業の推進と自主的活動の促進
- ② こどもの体験活動の促進
- ③ こども・若者の居場所づくりの推進

(3) 子育て家庭を支えるための環境整備

■養育支援訪問事業
現状値:6件 目標値:24件

■子育て世帯訪問支援事業の利用件数
現状値:- 目標値:24件

- ① ライフステージを通じた切れ目のない子育て支援の充実
- ② 様々な困難を抱える子育て家庭への支援
- ③ 子育てがしやすいまちづくりへの支援

(4) 幼児期等の教育と保育の充実

■保育園待機児童数
現状値:17人 目標値:0人

- ① 質の高い教育・保育の充実
- ② ライフスタイルに応じた子育て支援の充実

3 保健・医療

【目指す姿】

◇くらしの中から健康づくりへの関心が高まり、意識向上が図られ、多くの市民に健康づくり活動の輪が広がるとともに、市民ニーズに対応した保健サービス、健康増進事業、健康危機管理体制などが展開され、健康長寿なまちを目指します。
◇国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の被保険者が安心して医療サービスや介護サービスを受けられ健康な生活を送ることができるとともに、適切な年金の届け出を行い年金受給による安定的な生活を送れるまちを目指します。

(1) 健康づくりの支援

■健康寿命
現状値:男 18.45年 女 21.27年
目標値:男 19.41年 女 21.83年

- ① 健康づくり活動の促進
- ② 保健事業の充実
- ③ 歯科保健の充実
- ④ 精神保健の充実
- ⑤ 健康増進センターの活用

(2) 健康危機管理・地域医療の充実

■予防接種率(A類)
現状値:92% 目標値:95%

- ① 健康危機管理の充実
- ② 予防接種の充実
- ③ 地域医療体制の充実

(3) 保険事業等の適正な運営

■市レセプト点検による過誤調整の効果額
現状値:8,000,000円 目標値:8,000,000円

- ① 国民健康保険制度の円滑な運営
- ② 後期高齢者医療制度の運営支援
- ③ 国民年金制度の推進
- ④ 介護保険制度の適切な運営

施策(大柱)

施策(中柱)と成果指標

施策(小柱)

1 学校教育

【目指す姿】

◇こどもに豊かな心と健やかな体を育むとともに、「令和の日本型学校教育」の理念に基づく個別最適な学びと協働的な学びにより社会の創り手となる力を身に付け、質の高い学校教育を支える教育環境が充実したまちを目指します。

◇学校・家庭・地域が相互に連携・協働し、地域全体の教育力が向上しているまちを目指します。

(1) 持続可能な社会の創り手の育成

■埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査における「将来の夢や目標を持っていますか。」の回答状況
現状値:92% 目標値:100%

- ① 豊かな心を育む教育の推進
- ② いじめ・不登校対策の推進
- ③ こどもの意見反映を推進するとともに人権を尊重した教育の充実
- ④ 体力の向上と学校体育活動の推進
- ⑤ 健康の保持・増進

(2) 確かな学力と自立する力の育成

■埼玉県学力・学習状況調査における「学力を伸ばした児童生徒の割合」達成状況
現状値:11/11教科 目標値:11/11教科

- ① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
- ② キャリア教育と職業教育の推進
- ③ 伝統と文化を尊重し国際性を育む教育の推進
- ④ 教育DXの推進
- ⑤ 特別支援教育の推進

(3) 多様なニーズに対応した教育の推進

■学校に行きづらい児童生徒へのICT支援実施率
現状値:40% 目標値:90%

- ① 共生社会を目指した支援・指導の充実
- ② 学校に行きづらい児童生徒への支援の推進
- ③ 一人一人の状況に応じた支援

(4) 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

■教育委員会アンケート(こども対象)において「学校はICTを活用した教育を推進している」の回答状況
現状値:70% 目標値:90%

- ① 教職員の資質・能力の向上
- ② 学校の組織・運営の改善
- ③ こどもの安全・安心の確保
- ④ 小中一貫教育の推進
- ⑤ 適切な教育環境の設定
- ⑥ 安全・安心で持続可能な学校給食の提供

(5) 学校施設の適切な維持・管理

■学校施設長寿命化計画の進捗率
現状値:- 目標値:12.5%

- ① 学校施設・設備の適切な維持管理
- ② 長寿命化を見据えた学校施設の改修等の実施
- ③ 目標使用年数を迎える学校施設の改築の実施
- ④ 教育課題に対する施設面での解決策の検討

(6) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上

■学校評価における地域連携に係る項目の回答状況
現状値:73% 目標値:80%

- ① 地域と一体となったコミュニティ・スクールの推進
- ② 生涯スポーツ・文化活動を支える地域クラブ活動の体制整備
- ③ 貴重な地域人材の教育活動への積極的参画
- ④ 学校・家庭・地域の教育力向上のための支援

2 生涯学習

【目指す姿】

◇市民のニーズに応えた学習、文化活動など、情報の提供や活動を通して「いつでも」、「どこでも」、「誰でも」、生涯にわたって行う「学び」を支え、その成果を生かすことができるまちを目指します。

(1) 生涯にわたる学びの推進

■事業参加者満足度
現状値:92.8% 目標値:95.0%

- ① 生涯学習推進体制の充実
- ② 学習情報の提供と学習機会の充実
- ③ 豊かな地域文化活動に向けた団体、学習グループの支援とリーダーの育成・活用
- ④ 放課後のこどもの居場所づくり

(2) 学びを支える環境の充実

■公民館、図書館、文化財課が行う生涯学習事業の参加者総数
現状値:35,000人 目標値:40,000人

- ① 学習活動の支援・充実
- ② 利用しやすい施設の提供

3 スポーツ・レクリエーション

【目指す姿】

◇スポーツ・レクリエーション施設、事業が充実し、新たな指導者が育ち、市民がいつでもどこでも気軽にスポーツ・レクリエーションに親しめるまちを目指します。

(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

■週1回以上スポーツを行っている人の割合
現状値:48.4% 目標値:60.0%

- ① 推進体制の充実
- ② 活動情報の提供の充実
- ③ スポーツ事業の充実
- ④ 豊かな地域スポーツ活動に向けた団体、指導者の育成・支援

(2) 利用しやすい施設の提供

■スポーツ施設(14施設)の利用率
現状値:60.3% 目標値:63.0%

- ① 利用しやすい施設の整備
- ② 利用しやすい施設の運営

4 地域文化

【目指す姿】

◇市民が芸術文化活動の成果を発表できる場と機会が確保され、さまざまな芸術文化にふれあうことができるとともに、「彩夏祭」などの地域イベントが市民の手で継続して開催され、次世代に地域文化が歴史や伝統とともに継承され、郷土に対する愛着や誇りを持てるまちを目指します。

(1) 歴史や伝統の保護・活用

■文化財課が行う事業に対する満足度
現状値:60% 目標値:70%

- ① 文化財の保護・活用・伝承支援
- ② 地域資料の専門的調査研究とその成果の展示・公開
- ③ 小・中学校等と連携した学習活動

(2) 芸術文化の振興

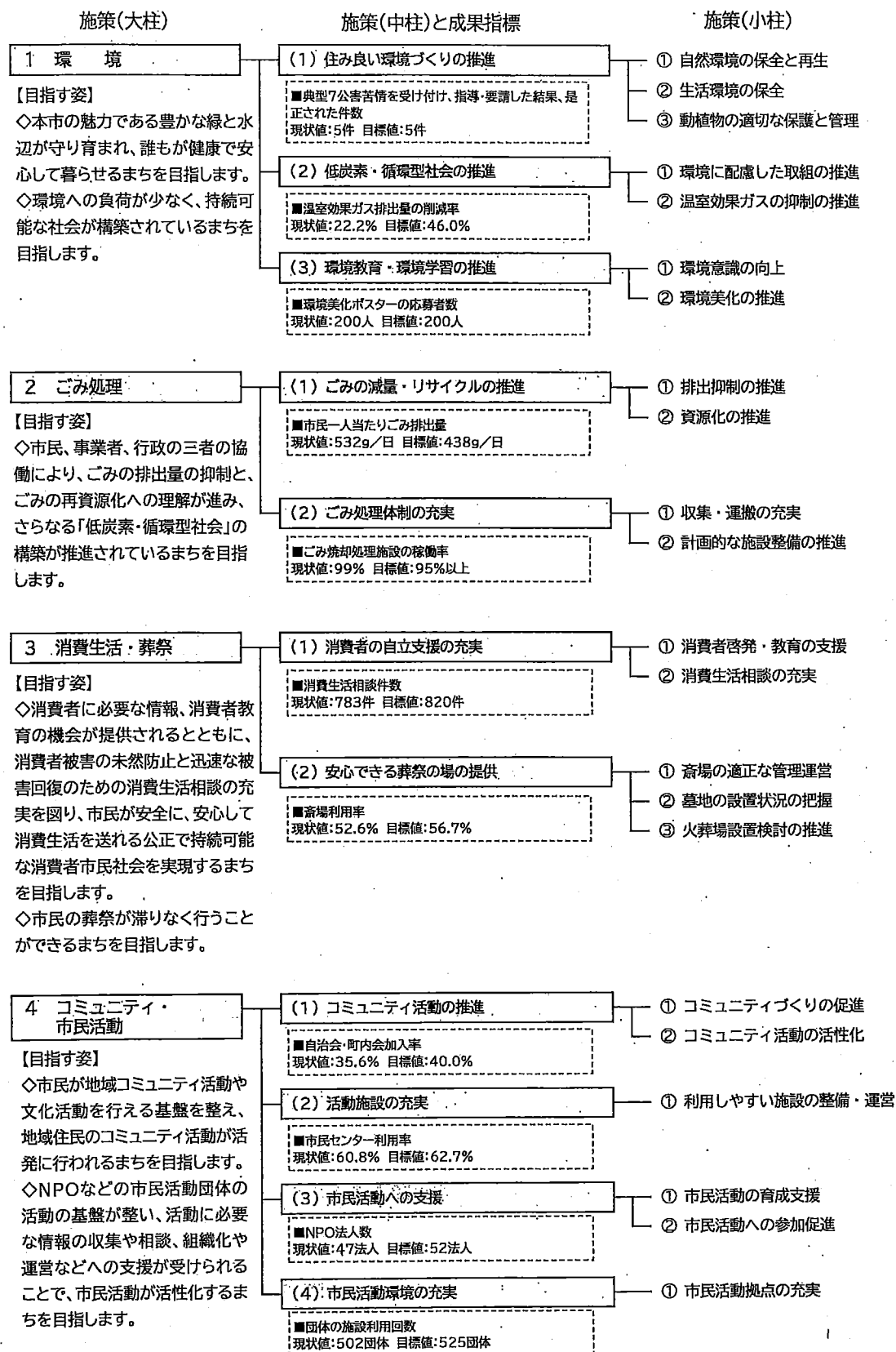
■文化祭入場者数
現状値:9,000人 目標値:9,500人

- ① 芸術文化の活動の充実支援
- ② 発表と鑑賞の機会の充実支援

(3) 地域文化によるまちづくり

■朝霞市民まつり「彩夏祭」来場者数
現状値:730,000人 目標値:730,000人

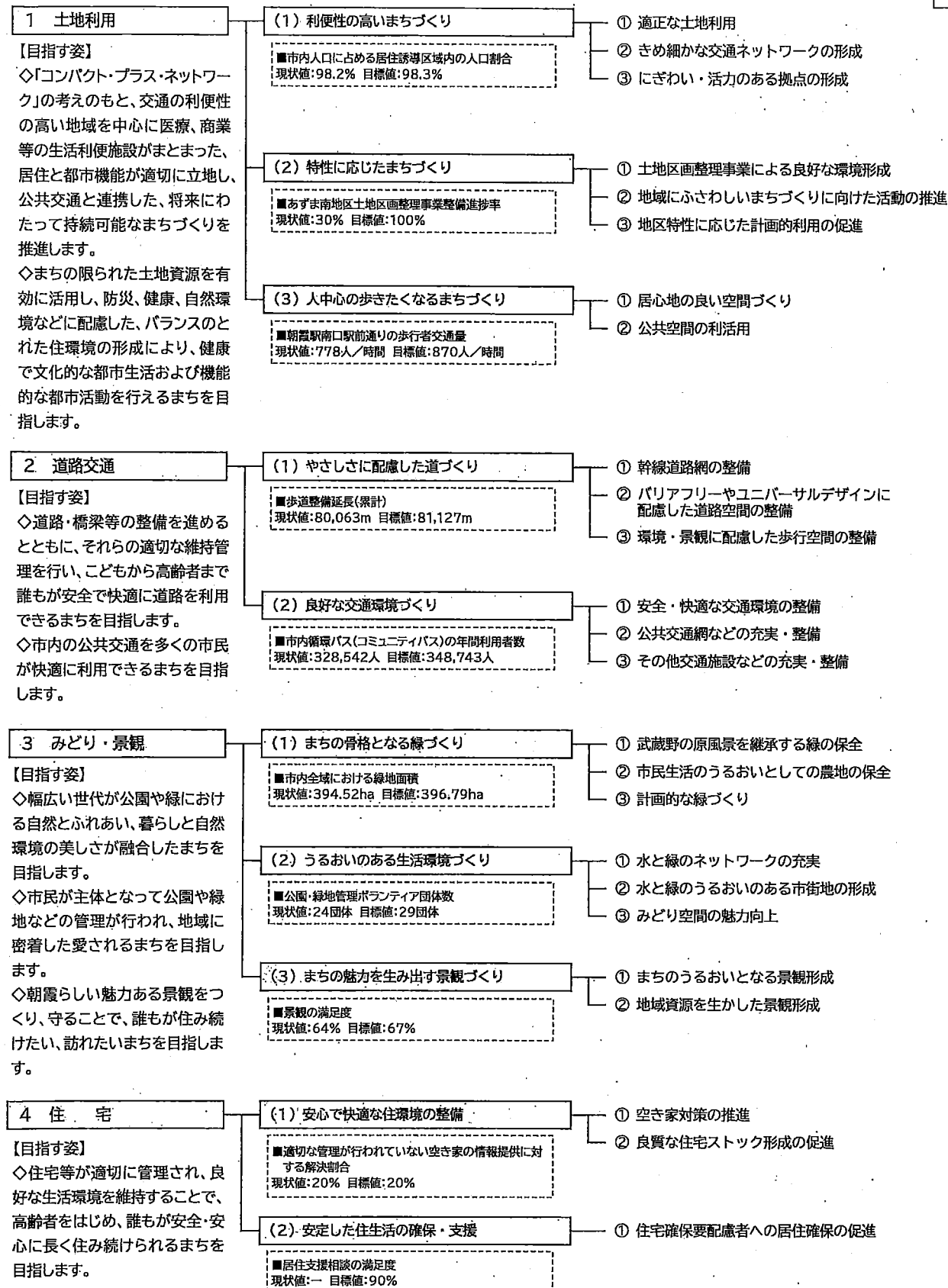
- ① 地域文化の発信
- ② 地域間・都市間交流の推進

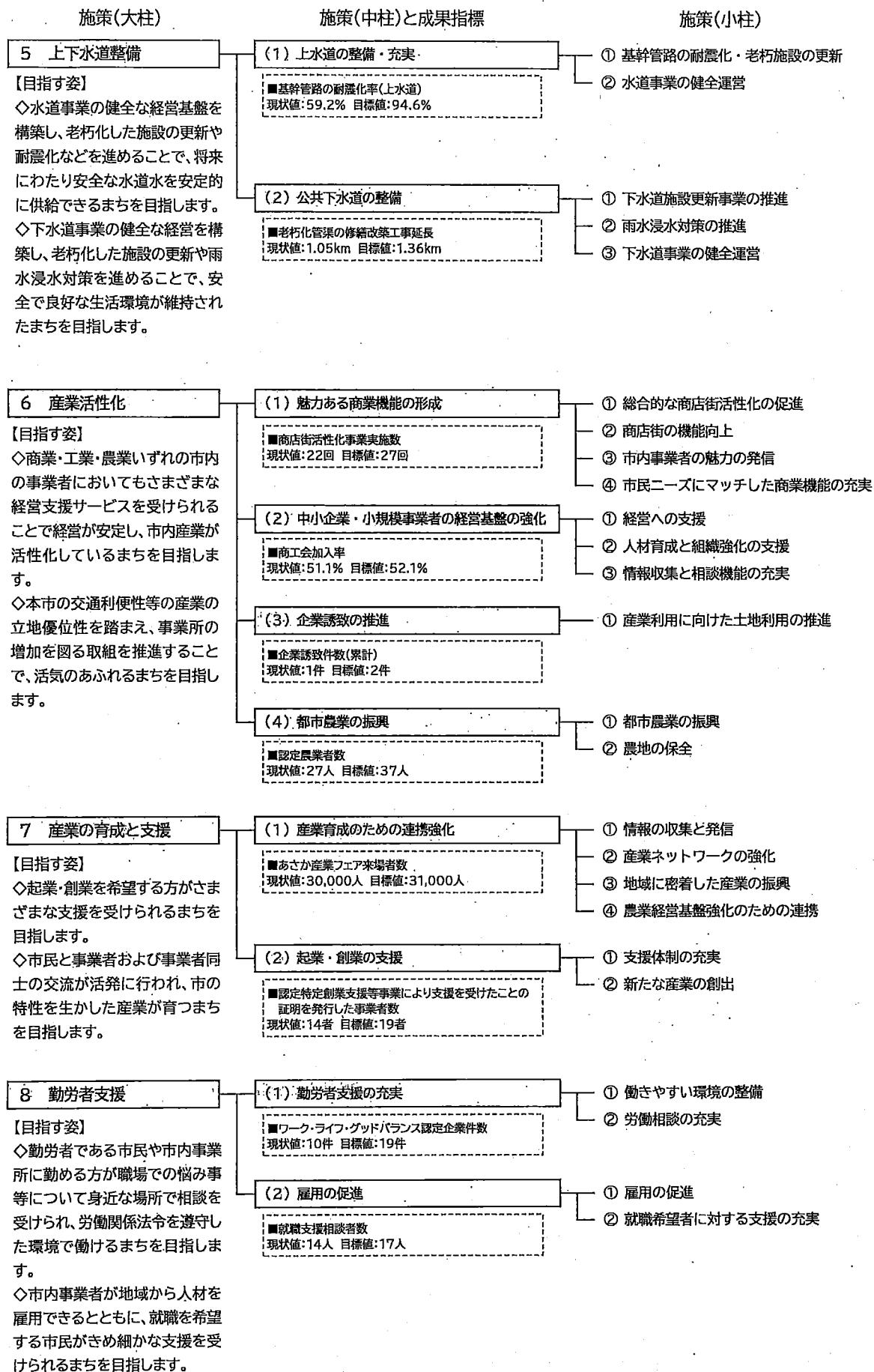


施策(大柱)

施策(中柱)と成果指標

施策(小柱)





施策(大柱)

施策(中柱)と成果指標

施策(小柱)

1 人権・多様性の尊重

【目指す姿】

◇年齢や性別、国籍などに関わりなく基本的人権を互いに尊重し、認め合い、その人らしく生きていくことができる差別のない明るいまちを目指します。

(1) 人権教育・啓発活動・問題解決に向けた支援

■人権に関する研修会・講演会参加者数
現状値:300人 目標値:500人

(2) 男女共同参画・性の多様性

■社会通念・習慣・しきたりなどで男女の地位は平等であるとする市民の割合
現状値:8% 目標値:20%

(3) 多文化共生

■多文化推進サポーターの登録人数
現状値:93人 目標値:110人

- ① 学校教育における人権教育の推進
- ② 社会教育における人権教育の推進
- ③ 人権啓発活動の推進・推進体制の充実
- ④ 相談や連携による人権問題解決の支援
- ① 男女平等の意識づくり
- ② 男女平等が実感できる生活の実現
- ③ 性の多様性に対する理解の促進
- ① 外国人市民が暮らしやすいまちづくり
- ② 多文化共生への理解の推進

2 市民参画・協働

【目指す姿】

◇多くの人が気軽にまちづくりに参加できる機会を増やすとともに、市民が必要とする情報を提供し、市政への参画が市民にとって身近であるまちを目指します。

(1) 市民参画と協働の推進

■NPOやボランティア等との協働事業数
現状値:71事業 目標値:81事業

(2) 情報提供の充実と市民ニーズの把握

■広報あさかを見やすいと感じている市民の割合
現状値:44.6% 目標値:60.0%

- ① 市民参画の機会の充実と推進
- ② 地域に関与する市民や団体の支援
- ① まちづくりに関する情報の提供
- ② 市民ニーズの把握

3 行 財 政

【目指す姿】

◇安定した財源を確保しつつ、デジタル化の推進を図りながら、効果的で効率的な行財政運営を行っていくことで、市民が必要とするサービスが将来にわたって持続的に提供されるまちを目指します。

(1) 総合計画の推進

■市民満足度アンケート結果(34項目)の平均点(4段階評価)
現状値:2.77点 目標値:2.80点

(2) 公平・適正な負担による財政基盤の強化

■市税収納率(現年分)
現状値:99.2% 目標値:99.5%

(3) 公共施設の効果的・効率的な管理・運営

■公共施設の改修工事着手率
現状値:76.9% 目標値:100%

(4) デジタル化の推進

■電子申請による時間節約効果
現状値:14,000時間 目標値:29,000時間

(5) 機能的な組織づくりと人材育成の充実

■市民満足度アンケートにおいて「満足」と回答した市民の割合
現状値:47.9% 目標値:50.0%

(6) シティ・プロモーションの展開

■市に愛着を感じている市民の割合
現状値:85% 目標値:90%

- ① 計画的な施策の推進
- ② 行政評価の推進
- ① 計画的な財政運営
- ② 効果的な財政運営
- ③ 税収などの確保
- ① 公共施設の計画的な管理・運営
- ② 効果的・効率的な公共施設の維持管理
- ① デジタル技術の適正かつ効果的な活用
- ② 市民に寄り添うデジタル化
- ① 柔軟で機能的な組織運営
- ② 職員的能力開発と人材の確保
- ① シティ・プロモーションを展開するための協力連携
- ② 市の魅力となる地域資源の発掘と活用
- ③ 効果的なメディアの活用推進